

第 6 期における桑名市の介護サービスの現状分析

- 厚生労働省の「地域包括ケア「見える化」システム」を活用して、第 6 期における桑名市の介護サービスの現状を把握します。
- 各サービスの利用状況の図表中、平成 27 年度は介護保険事業状況報告年報、平成 28 年度は介護保険事業状況報告月報の合計、平成 29 年度は平成 29 年 6 月月報をベースとした実績見込みです。
- 各サービスの利用状況の図表中、利用者数は年度の数値を 1 月当たりに換算したものです。したがって、端数の関係から介護度ごとの数値と合計の数値が一致しない場合があります。
- 居宅サービス及び地域密着型サービスの利用状況の図表中、利用率とは在宅サービス対象者に占める利用者の割合を言います。また、利用回（日）数は利用者 1 人 1 月当たりの数値です。
- 国、県との比較の表中、受給率とは第 1 号被保険者数に占める受給者数の割合を言います。
- 国、県との比較の表中、調整済み第 1 号被保険者 1 人当たり給付月額とは、「第 1 号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」を除外した数値であり、平成 27（2015）年度の数値に基づくものです。また、「認定者一人当たり定員」とは、各サービスの定員を要支援・要介護認定者数で除した数値であり、平成 28 年度の数値に基づくものです。

目 次

1	要支援・要介護認定者.....	2
2	介護保険給付費.....	4
3	居宅サービス（居住系サービスを除く）.....	5
4	地域密着型サービス（施設・居住系サービスを除く）.....	18
5	施設・居住系サービス.....	23
6	考察.....	30

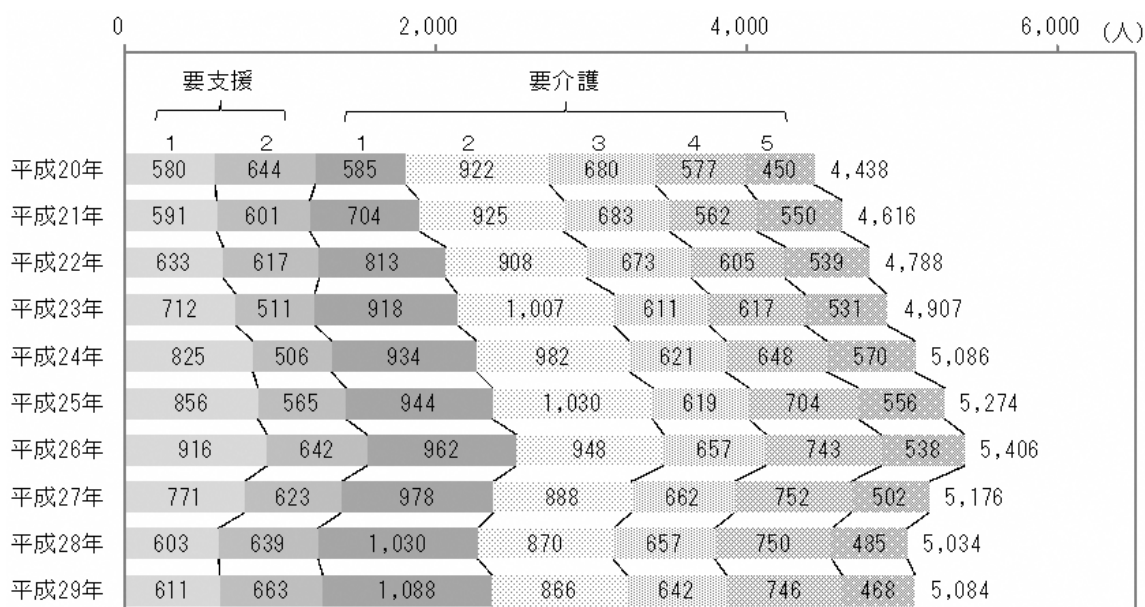
1 要支援・要介護認定者

(1) 認定者数の推移

平成29年6月末現在、要支援・要介護認定者数は5,084人です。平成26年までは右肩上がりに増加していましたが、平成27年に新しい総合事業を開始し、全体的には減少傾向として推移しています。

平成29年6月末現在の要介護度別の認定者数と認定率をみると、65歳以上の第1号被保険者の認定者は4,964人、第1号被保険者の13.8%にあたります。また、75歳以上の認定者の割合は26.2%と、75歳以上の4人に1人以上が認定者となっています。

図表1 認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告（平成20～28年は9月末、平成29年は6月末現在）

図表2 要支援・要介護認定者数

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
第1号被保険者	597	639	1,076	845	621	735	451	4,964
	1.7%	1.8%	3.0%	2.3%	1.7%	2.0%	1.3%	13.8%
65～74歳	62	91	86	83	60	77	49	508
	0.3%	0.5%	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	2.7%
75歳以上	535	548	990	762	561	658	402	4,456
	3.1%	3.2%	5.8%	4.5%	3.3%	3.9%	2.4%	26.2%
第2号被保険者	14	24	12	21	21	11	17	120
計	611	663	1,088	866	642	746	468	5,084

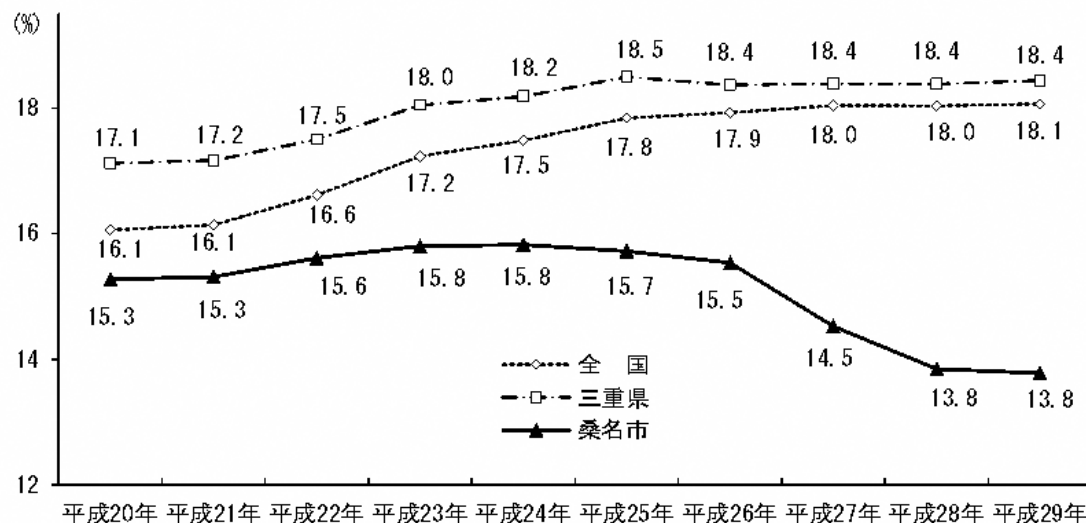
注：下段は各人口に対する割合（第1号被保険者数＝36,020人、65～74歳＝18,989人、75歳以上＝17,031人）

資料：介護保険事業状況報告（平成29年6月末）

(2) 要支援・要介護認定率の推移

第1号被保険者数に対する65歳以上の認定者数の割合（認定率）の推移をみると、平成24年以降低下傾向にあり、平成29年6月末現在、13.8%で、全国、県平均より4ポイント以上低い率となっています。

図表3 要支援・要介護認定率の推移



資料：介護保険事業状況報告（平成20～28年は9月末、平成29年は6月末現在）

2 介護保険給付費

(1) 第1号被保険者1人当たり給付月額

桑名市における平成27年の調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額をみると、在宅サービスは10,515円と、県よりは低く、ほぼ全国レベルとなっていますが、施設・居住系サービスは全国、三重県より低くなっています。

図表4 第1号被保険者1人あたり給付費の状況（全国・県との比較）

単位：円

区 分		合 計	在宅サービス	施設・居住系サービス
調整済み第1号被保険者1人あたり給付費（平成27年）	全 国	20,013	10,584	9,429
	三重県	20,841	11,345	9,496
	桑名市	19,551	10,515	9,036

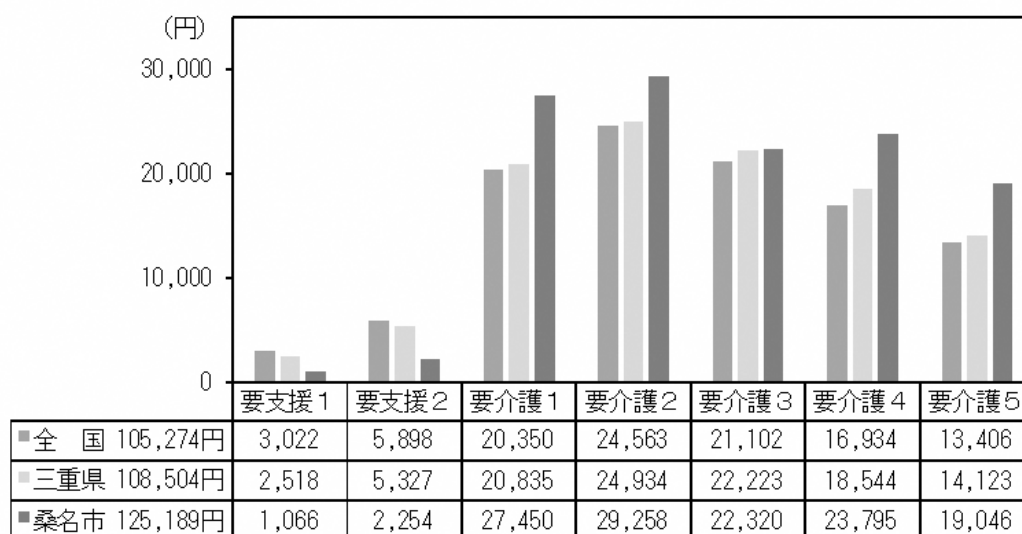
注：「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額

資料：地域包括ケア「見える化」システム（平成29年8月25日取得）

(2) 受給者1人当たり在宅サービス給付月額

桑名市における平成29年1月時点の受給者1人あたり給付月額費をみると、125,189円で、全国、三重県を1万5千円以上上回っています。介護度別にみると、要支援は全国、三重県より低く、要介護はいずれの介護度においても高くなっています。

図表5 受給者1人当たり給付月額の状況（全国・県との比較）



資料：地域包括ケア「見える化」システム（平成29年8月25日取得）

3 居宅サービス（居住系サービスを除く）

(1) 訪問介護・介護予防訪問介護

利用者数は800人前後で推移しています。なお、平成27年度当初から総合事業を導入しており、平成27年度中は要支援の利用者が順次、総合事業に移行しています。

本市の訪問介護の受給率は2.2%となっており、全国、三重県を下回っています。受給者1人当たり利用回数は16.5回、給付月額は962円、第1号被保険者1人当たり給付額は43,626円でいずれも全国、三重県を下回っています。

図表6 訪問介護の利用状況

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）		
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数
要支援	1	61	7.9	0	0.0		0	0.0	
	2	61	9.8	6	0.9		6	0.9	
要介護	1	229	27.3	243	28.0	11.9	257	29.8	11.7
	2	191	27.3	200	29.1	14.2	214	31.8	15.0
	3	109	26.7	120	29.0	18.7	131	32.5	27.9
	4	116	29.4	111	29.3	23.1	97	32.5	24.6
	5	79	31.3	29.4	85	36.5	31.2	89	52.2
合 計	845			763			793		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表7 訪問介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	3.7	3.5	2.2
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	1,987	1,829	962
調整済み(2015年)	1,895	1,694	933
受給者1人当たり給付月額(円)	52,505	52,454	43,626
受給者1人当たり利用回数(回数)	17.3	19.0	16.5

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(2) 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

平成28年度の利用者数は25人、その内、重度の要介護4・5が19人と利用者の70%以上を占めています。利用回数は月6回弱です。平成27年度から利用者が減少傾向にあります。

本市の訪問入浴介護の受給率は0.1%となっており、第1号被保険者1人当たり給付月額も全国、三重県を下回っています。しかし、給者1人当たり利用回数は5.7回、給付月額は67,159円となっており、全国、三重県を上回っています。

図表8 訪問入浴介護の利用状況

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	
要支援	1	0	0.0	6.0	1	0.2	5.6	1	0.2	5.6
	2	1	0.1	8.6	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
要介護	1	0	0.0	6.3	1	0.1	5.4	0	0.0	0.0
	2	1	0.2	3.3	2	0.2	4.7	2	0.2	7.7
	3	3	0.6	5.7	3	1.2	5.2	5	1.2	2.1
	4	7	1.9	5.1	7	1.7	6.0	5	1.7	6.5
	5	15	6.0	5.9	12	5.1	5.9	11	6.4	6.3
合 計	28			25			23			

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表9 訪問入浴介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	0.2	0.2	0.1
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	116	96	47
受給者1人当たり給付月額(円)	56,507	54,532	67,159
受給者1人当たり利用回数(回数)	4.7	4.7	5.7

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(3) 訪問看護・介護予防訪問看護

平成28年度の利用者数は181人、介護度が重くなるにしたがい利用率は高くなっており、要介護5では17%を超えています。利用回数は月9回程度ですが、要介護5では11回を超えています。平成27年度から利用者が増加傾向にあります。

本市の訪問看護の受給率は0.5%、第1号被保険者1人当たり給付月額が257円と全国、三重県を下回っていますが、受給者1人当たり利用回数は8.5回、給付月額は48,580円と全国、三重県を上回っています。

図表10 訪問看護の利用状況

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	
要支援	1	6	0.7	4.2	6	1.0	4.4	4	0.6	5.6
	2	12	1.9	7.5	13	2.0	8.5	20	3.1	7.8
要介護	1	20	2.4	5.3	25	2.8	6.5	34	3.9	5.9
	2	29	4.2	8.7	34	4.9	9.4	40	6.0	9.7
	3	21	5.0	7.7	24	5.7	8.9	42	10.4	8.7
	4	43	10.9	8.9	39	10.3	9.2	36	12.0	9.2
	5	45	17.7	9.6	41	17.7	11.1	45	26.5	15.1
合 計	175			181			220			

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表11 訪問看護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	1.3	1.0	0.5
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	507	416	257
調整済み(2015年)	433	363	235
受給者1人当たり給付月額(円)	39,096	39,941	48,580
受給者1人当たり利用回数(回数)	8.1	8.4	8.5

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(4) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

平成28年度の利用者数は65人、利用率は介護度が重くなるにしたがい高くなる傾向にありますが、利用者数は要介護2・3が多くなっています。利用回数は月10回程度ですが、要介護3では11回を超えています。平成27年度から利用者が増加傾向にあります。

本市の訪問リハビリテーションの受給率は0.2%、受給者1人当たり利用回数は9.3回、給付月額が26,534円、第1号被保険者1人当たり給付月額は53円となっており、いずれも全国、三重県を下回っています。

図表12 訪問リハビリテーションの利用状況

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	
要支援	1	3	0.4	9.5	3	0.5	7.9	3	0.5	10.5
	2	6	1.0	9.6	8	1.2	11.1	14	2.2	11.7
要介護	1	4	0.5	8.9	9	1.0	8.4	9	1.0	8.0
	2	15	2.1	9.1	17	2.5	10.4	20	2.9	11.6
	3	13	3.3	11.0	12	2.8	11.6	12	2.9	15.2
	4	9	2.2	9.9	7	1.9	10.2	9	3.1	8.8
	5	10	3.9	10.2	10	4.1	9.6	10	5.6	6.3
合 計	60	1.4	9.9	65	1.5	10.2	76	1.9	10.7	

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表13 訪問リハビリテーションの1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	0.3	0.4	0.2
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	89	120	53
受給者1人当たり給付月額(円)	30,886	30,283	26,534
受給者1人当たり利用回数(回数)	10.6	10.5	9.3

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(5) 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

平成28年度の利用者数は450人、利用率は介護度が重くなるにしたがい高くなる傾向にあり要介護5では33%を超えています。利用者数は要介護2・4が比較的多くなっています。平成27年度から利用者が増加傾向にあります。

本市の居宅療養管理指導の受給率は1.3%、受給者1人当たり給付月額が7,894円、第1号被保険者1人当たり給付月額は105円と、全国を下回っていますが、いずれも三重県を上回っています。

図表14 居宅療養管理指導の利用状況

区 分		平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）	
		利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）
要支援	1	10	1.2	8	1.3	12	2.1
	2	8	1.3	11	1.8	10	1.6
要介護	1	59	7.0	83	9.6	130	15.0
	2	92	13.1	92	13.5	88	13.1
	3	74	18.2	75	18.2	59	14.8
	4	91	23.0	103	27.3	100	33.7
	5	82	32.3	78	33.4	86	50.4
合 計		414	9.4	450	10.6	486	11.9

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表15 居宅療養管理指導の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率（％）	1.8	1.1	1.3
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	198	77	105
受給者1人当たり給付月額（円）	11,347	7,446	7,894

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(6) 通所介護・介護予防通所介護

平成28年度の利用者数は1,059人、平成27年度に比べ700人以上減少しています。これは、制度改正により、平成28年度から18人以下の小規模事業所が地域密着型通所介護に移行したことの影響が考えられます。

本市の通所介護の受給率は2.8%となっており、全国、三重県を大きく下回っています。これは、本市が平成27年度当初から総合事業を導入しており、要支援の利用者が順次、総合事業に移行していること等が影響したと考えられます。また、第1号被保険者1人当たり給付月額が3,229円と、全国を上回っているものの三重県を下回っています。受給者1人当たり利用回数は13.1回と全国、三重県を大きく上回り、1人当たりの給付月額も101,703円と全国、三重県を大きく上回っています。

認定者1人当たり定員は0.295人となっており、全国、三重県を0.1人以上、大きく上回っています。

図表16 通所介護の利用状況

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数
要支援	1	190	24.9	1	0.1		0	0.0	
	2	155	25.0	4	0.6		2	0.4	
要介護	1	504	59.9	373	43.0	12.2	260	30.0	12.2
	2	422	60.3	288	42.0	13.5	197	29.3	13.8
	3	207	51.0	157	37.9	14.9	113	28.1	15.3
	4	192	48.6	149	39.4	16.9	100	33.7	17.9
	5	108	42.8	17.1	88	38.0	17.4	72	42.2
合 計	1,777			1,059			745		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表17 通所介護の1人当たりの利用状況(国・県との比較)

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	4.2	5.0	2.8
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	2,885	3,716	3,229
調整済み(2015年)	3,516	4,415	4,790
受給者1人当たり給付月額(円)	62,239	67,836	101,703
受給者1人当たり利用回数(回数)	7.3	8.0	13.1
認定者1人当たり定員(人)(※)	0.153	0.194	0.295

(※) 地域密着型通所介護を含む

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(7) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

平成28年度の利用者数は286人、利用率は要介護2以上では9～10%台となっておりますが、利用者数が多いのは要介護1・2です。利用回数は月10回前後ですが、要介護5では若干少なくなっています。平成27年度から利用者が減少傾向にあります。

本市の通所リハビリテーションの受給率は0.8%、第1号被保険者1人当たり給付月額額は669円といずれも全国、三重県を下回っていますが、受給者1人当たり利用回数は7.5回、給付月額額は71,817円と全国、三重県を上回っています。

認定者1人当たり定員は0.040人となっており、全国、三重県とほぼ同じです。

図表18 通所リハビリテーションの利用状況

区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数
要支援	1	25	3.3	19	3.1		18	3.0	
	2	32	5.2	31	4.9		31	4.9	
要介護	1	61	7.3	66	7.6	10.1	89	10.2	9.5
	2	80	11.4	65	9.5	11.2	52	7.6	12.6
	3	53	13.0	45	10.9	10.5	45	11.2	9.7
	4	51	12.8	39	10.4	10.7	28	9.4	10.4
	5	20	8.1	8.5	21	9.1	8.6	19	11.3
合計	322			286			281		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表19 通所リハビリテーションの1人当たりの利用状況(国・県との比較)

区分	全国	三重県	桑名市
受給率(%)	1.6	1.6	0.8
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	1,027	1,031	669
調整済み(2015年)	977	968	780
受給者1人当たり給付月額(円)	58,273	60,827	71,817
受給者1人当たり利用回数(回数)	5.8	6.3	7.5
認定者1人当たり定員(人)	0.044	0.042	0.040

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(8) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

平成28年度の利用者数は300人、要介護3以上の利用率が高く、特に要介護4が18.0%となっています。利用日数は月13日程度ですが、要介護4では16日を超えています。平成27年度から利用者が減少傾向にあります。

本市の短期入所生活介護の受給率は0.8%と、全国、三重県を下回っていますが、受給者1人当たり利用日数は14.1日、給付月額が110,965と、全国、三重県を上回っています。

図表20 短期入所生活介護の利用状況

区分		平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）		
		利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)
要支援	1	4	0.5	4.0	3	0.5	5.9	4	0.6	13.6
	2	9	1.5	7.6	7	1.1	6.5	8	1.3	6.1
要介護	1	57	6.8	8.9	55	6.3	9.2	66	7.6	9.4
	2	78	11.2	10.5	66	9.6	11.1	68	10.0	12.7
	3	73	18.0	15.2	65	15.8	14.9	66	16.5	13.2
	4	75	19.0	15.0	68	18.0	16.4	46	15.6	18.2
	5	46	18.3	14.3	36	15.6	14.3	30	17.7	16.1
合計		343			300			288		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表21 短期入所生活介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区分	全国	三重県	桑名市
受給率(%)	0.9	1.3	0.8
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	864	1,283	866
調整済み(2015年)	845	1,249	1,024
受給者1人当たり給付月額(円)	92,958	99,185	110,965
受給者1人当たり利用日数(日数)	11.6	12.7	14.1

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(9) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

短期入所療養介護は、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等に短期間入所し、医学的管理のもとで食事や入浴などの介護を行うサービスです。

平成28年度の利用者数は介護老人保健施設が33人、介護療養型医療施設等が7人と、同じ短期入所サービスである短期入所生活介護に比べ少ない利用です。要介護5の利用率が高くなっています。

本市の短期入所療養介護の受給率は0.1%と全国、三重県と同じです。第1号被保険者1人当たり給付月額81円、受給者1人当たり利用日数は6.8日、給付額は71,180円と、全国、三重県を下回っています。

図表22 短期入所療養介護の利用状況

①介護老人保健施設

区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	
要支援	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	2	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
要介護	1	2	0.3	11.9	5	0.6	8.5	7	0.9	2.8
	2	7	1.0	5.2	8	1.1	5.1	9	1.4	9.2
	3	2	0.4	4.6	5	1.2	6.0	20	5.1	21.7
	4	5	1.1	3.7	7	1.7	6.9	5	1.8	11.2
	5	6	2.5	8.5	8	3.4	8.4	10	6.0	9.6
合計	22			33			53			

② 介護療養型医療施設等

区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度（見込み）			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	
要支援	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	2	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
要介護	1	0	0.0	0.0	1	0.1	3.9	0	0.0	0.0
	2	0	0.0	0.0	1	0.1	3.1	0	0.0	0.0
	3	1	0.2	9.6	1	0.2	6.2	0	0.0	0.0
	4	1	0.2	4.6	2	0.4	5.7	2	0.5	7.6
	5	2	0.8	8.9	3	1.1	10.7	5	3.0	8.8
合計	4			7			7			

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表23 短期入所療養介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三重県	桑名市
受給率（％）	0.1	0.1	0.1
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	123	119	81
受給者1人当たり給付月額（円）	83,003	82,345	71,180
受給者1人当たり利用日数（日数）	7.9	7.9	6.8

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(10) 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

平成28年度の利用者数は1,550人です。利用率は介護度が重くなるにしたがい、高くなる傾向にあり、要介護2以上では50%を超えています。平成27年度から利用者が減少傾向にあります。

本市の福祉用具貸与の受給率は4.3%と全国、三重県を下回っていますが、受給者1人当たり給付月額は11,104円と三重県を上回っています。

図表24 福祉用具貸与の利用状況

区 分		平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）	
		利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）
要支援	1	161	21.0	125	21.1	129	22.2
	2	212	34.3	217	34.2	221	34.8
要介護	1	203	24.1	212	24.4	237	27.5
	2	365	52.3	357	52.2	367	54.4
	3	240	59.1	240	58.1	255	63.4
	4	255	64.6	246	65.1	218	73.2
	5	163	64.7	152	65.7	159	93.2
合 計		1,600		1,550		1,586	

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表25 福祉用具貸与の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三重県	桑名市
受給率（％）	5.7	6.0	4.3
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	657	654	480
調整済み（2015年）	609	601	509
受給者1人当たり給付月額（円）	11,652	11,089	11,104

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(11) 特定福祉用具購入費・特定介護予防福祉用具購入費

在宅の要支援・要介護者が福祉用具を購入した場合は、申請により10万円の利用限度額の範囲内で、かかった費用の9割（一定以上所得者は8割）が支給されます。

平成28年度の利用者数は34人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額は24円で、全国、三重県を下回っています。

図表26 特定福祉用具購入費の利用状況

区 分		平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）	
		利用者数 （人）	利用率 （%）	利用者数 （人）	利用率 （%）	利用者数 （人）	利用率 （%）
要支援	1	4	0.5	5	0.8	4	0.7
	2	5	1.0	8	1.2	7	1.0
要介護	1	4	0.6	4	0.5	6	0.7
	2	3	0.9	7	1.1	5	0.7
	3	2	0.9	5	1.1	3	0.7
	4	2	1.0	5	1.2	9	3.1
	5	2	0.6	1	0.5	3	1.9
合 計		31		34		37	

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表27 特定福祉用具購入費の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	33	29	24

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(12) 住宅改修費・介護予防住宅改修費

住宅の要支援・要介護者が手すりの取付、床段差の解消などの住宅改修を行った場合は、申請により20万円の利用限度額の範囲内で、工事にかかった費用の9割（一定以上所得者は8割）が支給されます。

平成28年度の利用者数は40人ですが、比較的軽度の利用率が高くなっています。

第1号被保険者1人当たり給付月額額は94円で全国、三重県を下回っています。

図表28 住宅改修費の利用状況

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）		
	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	
要支援	1	9	1.1	8	1.3	11	1.8
	2	9	1.4	10	1.5	4	0.6
要介護	1	8	0.9	6	0.7	4	0.5
	2	6	0.8	8	1.2	8	1.2
	3	4	1.0	4	0.9	3	0.7
	4	3	0.8	3	0.9	2	0.7
	5	1	0.4	1	0.4	0	0.0
合 計	39		40		32		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表29 住宅改修の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	98	115	94

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(13) 居宅介護支援・介護予防支援

平成28年度の利用者数は2,568人で、要介護1～5の利用率は80%を超えています。なお、本市は平成27年度当初から総合事業を導入しており、要支援の分の一部が、介護予防ケアマネジメントに移行しているため、要支援については低くなっています。

図表30 居宅介護支援・介護予防支援の利用状況

区 分		平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）	
		利用者数 （人）	利用率 （%）	利用者数 （人）	利用率 （%）	利用者数 （人）	利用率 （%）
要支援	1	355	46.5	144	24.3	137	23.6
	2	345	55.7	244	38.5	251	39.4
要介護	1	694	82.5	738	85.2	789	91.3
	2	622	89.0	604	88.2	579	85.9
	3	355	87.4	353	85.2	368	91.6
	4	324	82.1	305	80.8	267	89.7
	5	186	73.6	180	77.6	107	100.0
合 計		2,881		2,568		2,572	

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表31 居宅介護支援・介護予防支援の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三重県	桑名市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	1,177	1,282	939
受給者1人当たり給付月額（円）	11,609	12,053	13,003

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

4 地域密着型サービス（施設・居住系サービスを除く）

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスです。本市には1か所の事業所があり、平成28年度の利用者数は7人です。

受給者1人当たり給付月額は94,015円となっており、全国、三重県を下回っています。

図表32 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）		
	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	
要介護	1	2	0.3	3	0.4	4	0.5
	2	1	0.2	2	0.3	2	0.3
	3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
	4	3	0.6	1	0.4	1	0.2
	5	1	0.4	0	0.1	0	0.0
合 計	7		7		7		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表33 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率（％）	0.0	0.0	0.0
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	63	18	19
受給者1人当たり給付月額（円）	147,555	123,290	94,015

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25 1月月報まで)

(2) 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護は、利用者の状況や希望などに応じて、デイサービス、宿泊、訪問介護を組み合わせ受けられるサービスです。本市には6か所の事業所があり、平成28年度の利用者数は100人です。利用率が高く利用者が最も多いのは要介護2です。

受給者1人当たり給付月額が179,757円、第1号被保険者1人当たり給付月額は501円となっており、いずれも全国、三重県を上回っています。

認定者1人当たり通いの定員は0.018人となっており、全国、三重県を上回っています。

図表34 小規模多機能型居宅介護の利用状況

区 分		平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）	
		利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）
要支援	1	6	0.8	7	1.2	6	1.0
	2	6	0.9	8	1.3	9	1.4
要介護	1	25	3.0	25	2.8	25	2.8
	2	23	3.3	27	4.0	27	4.0
	3	11	2.8	11	2.6	12	2.9
	4	14	3.6	14	3.7	11	3.6
	5	11	4.4	9	3.9	11	6.7
合 計		96		100		100	

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表35 小規模多機能型居宅介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率（％）	0.3	0.2	0.3
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	493	367	501
受給者1人当たり給付月額（円）	176,079	166,697	179,757
認定者1人当たり通いの定員（人）	0.012	0.009	0.018

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(3) 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

看護小規模多機能型居宅介護は、利用者の状況や希望などに応じて、小規模多機能型居宅介護に訪問看護を組み合わせるサービスです。本市には1か所の事業所があり、平成28年度の利用者数は24人です。

受給者1人当たり給付月額が239,759円、第1号被保険者1人当たり給付月額は151円となっており、いずれも全国、三重県を上回っています。

認定者1人当たり定員は0.004人となっており、全国、三重県を上回っています。

図表36 看護小規模多機能型居宅介護の利用状況

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度（見込み）		
	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	利用者数 （人）	利用率 （％）	
要介護	1	3	0.4	7	0.9	6	0.7
	2	5	0.7	4	0.5	2	0.3
	3	5	1.2	2	0.6	2	0.6
	4	3	0.8	6	1.6	11	3.6
	5	4	1.5	4	1.8	3	1.8
合 計	20		24		25		

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表37 看護小規模多機能型居宅介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率（％）	0.0	0.0	0.1
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	39	25	151
受給者1人当たり給付月額（円）	228,382	205,802	239,759
認定者1人当たり定員（人）	0.001	0.001	0.004

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(4) 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

平成28年度の利用者数は64人、利用率は要介護3・4が高くなっています。利用回数は月14回前後ですが、要介護5では若干多くなっています。平成27年度から利用者が減少傾向にあります。

本市の認知症対応型通所介護の受給率は0.2%と、全国並です。第1号被保険者1人当たり給付月額が276円、受給者1人当たり利用回数は13.6回、給付月額は146,618円と全国、三重県を上回っています。

認定者1人当たり定員は0.015人となっており、全国、三重県を上回っています。

図表38 認知症対応型通所介護の利用状況

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	利用者数(人)	利用率(%)	利用回(日)数	
要支援	1	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	
	2	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	
要介護	1	19	2.3	11.3	19	2.2	10.3	27	3.2	10.8
	2	11	1.6	11.8	9	1.3	15.0	5	0.7	16.8
	3	22	5.5	15.5	17	4.2	16.4	12	3.1	15.4
	4	14	3.5	13.6	13	3.5	13.9	7	2.5	17.4
	5	6	2.5	17.5	6	2.4	18.2	8	4.7	26.3
合 計	73			64			60			

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表39 認知症対応型通所介護の1人当たりの利用状況(国・県との比較)

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	0.2	0.1	0.2
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	186	128	276
受給者1人当たり給付月額(円)	103,906	109,049	146,618
受給者1人当たり利用回数(回数)	10.0	10.3	13.6
認定者1人当たり定員(人)	0.007	0.007	0.015

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(5) 地域密着型通所介護

制度改正により、地域密着型通所介護が創設され、平成28年度から定員18人以下の小規模の通所介護施設がこれに移行しました。

平成28年度の利用者数は525人、利用率は要介護1・2が高くなっています。

本市の地域密着型通所介護の受給率は1.5%、第1号被保険者1人当たり給付月額はい、2,296円、受給者1人当たり利用回数は10.2回、受給者1人当たり給付月額は79,116円となっており、いずれも全国、三重県を上回っています。

図表40 地域密着型通所介護の利用状況

区 分	平成28年度			
	利用者数(人)	利用率(%)	利用回数(日)数	
要介護	1	207	23.9	10.1
	2	164	24.0	11.9
	3	75	18.0	12.8
	4	47	12.4	12.8
	5	33	14.1	11.4
合 計	525			

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

図表41 地域密着型通所介護の1人当たりの利用状況(国・県との比較)

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
受給率(%)	1.1	1.3	1.5
第1号被保険者1人当たり給付月額(円)	835	1,055	1,296
受給者1人当たり給付月額(円)	69,928	75,640	79,116
受給者1人当たり利用回数(回数)	9.0	9.7	10.2

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(6) 夜間対応型訪問介護

地域密着型サービスは、前記(1)~(5)のほかに、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、夜間対応型訪問介護が制度化されています。地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護等の施設・居住系サービスについては、次項において言及します。夜間対応型訪問介護については、本市には整備されていません。

5 施設・居住系サービス

(1) 介護老人福祉施設

平成29年4月の利用者数は279人で、要介護4が最も多く112人、次いで要介護5が90人となっており、要介護4・5が72.4%を占めています。介護老人福祉施設の利用は原則として要介護3以上となっていますが、要介護1・2の利用が12人（4.3%）あります。

市内には介護老人福祉施設が5か所あり、定員は258人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額が1,943円と全国、三重県を大きく下回っています。

図表42 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の利用状況

区 分		平成27年10月	平成28年10月	平成29年4月
		利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
要介護	1	2	3	3
	2	15	12	9
	3	55	68	65
	4	118	100	112
	5	93	102	90
合 計		283	285	279

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表43 介護老人福祉施設の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	3,655	3,996	1,943
調整済み（2015年）	3,553	3,820	2,131
認定者1人当たり定員（人）	0.086	0.092	0.052

資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.8.25取得）

(2) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護【地域密着型サービス】

平成29年4月の利用者数は90人で、要介護4が最も多く40人です。

市内には地域密着型介護老人福祉施設が4か所あり、定員は93人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額は622円と全国、三重県を上回っています。

図表44 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の利用状況

区 分		平成27年10月	平成28年10月	平成29年4月
		利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
要介護	1	9	6	7
	2	18	19	16
	3	16	15	16
	4	31	39	40
	5	14	10	11
合 計		88	89	90

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表45 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	368	430	622
調整済み（2015年）	345	400	678

資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.8.25取得）

(3) 介護老人保健施設

平成29年4月の利用者数は458人で、要介護4が最も多く137人、次いで要介護3が92人です。

市内には介護老人保健施設が7か所あり、定員は639人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額は3,349円と全国、三重県を上回っています。また、認定者1人当たりの定員も0.129人と全国、三重県を上回っています。

図表46 介護老人保健施設（老人保健施設）の利用状況

区 分	平成27年10月			平成28年10月			平成29年4月		
	利用者数(人)			利用者数(人)			利用者数(人)		
要介護	1	46	69	69	69	69			
	2	49	63	79	63	79			
	3	112	96	92	96	92			
	4	132	140	137	140	137			
	5	80	82	81	82	81			
合 計	419	450	450	450	458				

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表47 介護老人保健施設の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	2,711	3,218	3,349
調整済み（平成26年）	2,632	3,039	3,331
認定者1人当たり定員（人）	0.059	0.071	0.129

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(4) 介護療養型医療施設

平成29年4月の利用者数は53人で、要介護4・5が49人で90%以上を占めています。
市内には介護療養型医療施設が2か所あり、定員は181人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額が493円と三重県を上回っています。また、認定者1人当たりの定員も0.037人と全国、三重県を上回っています。

図表48 介護療養型医療施設の利用状況

区 分	平成27年10月	平成28年10月	平成29年4月
	利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
要介護	1	3	1
	2	2	1
	3	4	2
	4	27	25
	5	19	24
合 計	55	61	53

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表49 介護療養型医療施設の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	565	474	493
調整済み（2015年）	563	513	532
認定者1人当たり定員（人）	0.009	0.008	0.037

資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.8.25取得）

(5) 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
【地域密着型サービス】

平成29年4月の利用者数は216人で、要介護1が77人と最も多く、次いで要介護2が48人です。

市内にはグループホームが15か所あり、定員は239人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額は1,412円と全国、三重県を上回っています。また、認定者1人当たりの定員も0.054人と全国、三重県を上回っています。

図表50 認知症対応型共同生活介護の利用状況

区 分		平成27年10月	平成28年10月	平成29年4月
		利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
要支援	1	0	0	0
	2	1	2	2
要介護	1	62	69	77
	2	67	50	48
	3	38	35	30
	4	24	36	40
	5	20	17	19
合 計		212	209	216

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表51 認知症対応型共同生活介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	1,353	1,084	1,412
調整済み（2015年）	1,324	1,060	1,577
受給者1人当たり給付月額（円）	247,641	245,934	247,115
認定者1人当たり定員（人）	0.032	0.027	0.054

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

(6) 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護【居宅サービス】

特定施設入居者生活介護は、有料老人ホームや軽費老人ホームなどの特定施設に入居している要支援・要介護者に対して、その特定施設内において、ケアプランに基づいた介護、日常生活上または療養上の世話、機能訓練を行うサービスです。

平成29年4月の利用者数は90人で、要介護1が23人と最も多く、次いで要介護2が18人です。

市内には該当する有料老人ホームが2か所あり、定員は129人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額が462円と全国、三重県を下回っています。また、認定者1人当たりの定員も0.026人と全国には下回っていますが、三重県と同水準です。

図表52 特定施設入居者生活介護の利用状況

区 分		平成27年10月	平成28年10月	平成29年4月
		利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
要支援	1	8	11	12
	2	3	3	4
要介護	1	19	21	23
	2	16	20	18
	3	15	12	10
	4	18	15	12
	5	16	12	11
合 計		95	94	90

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表53 特定施設入居者生活介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	1,039	681	462
調整済み（2015年）	979	622	501
受給者1人当たり給付月額（円）	174,461	166,519	164,597
認定者1人当たり定員（人）	0.043	0.023	0.026

資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.8.25取得）

(7) 地域密着型特定施設入居者生活介護・地域密着型介護予防特定施設入居者生活介護

【地域密着型サービス】

平成29年4月の利用者数は38人で、要介護4が12人と最も多く、次いで要介護5が10人と重度の利用が多くなっています。

市内には該当する有料老人ホームが2か所あり、定員は49人です。

第1号被保険者1人当たり給付月額額は241円と全国、三重県を上回っています。また、認定者1人当たりの定員も0.014人と全国、三重県を上回っています。

図表54 特定施設入居者生活介護の利用状況

区 分		平成27年10月	平成28年10月	平成29年4月
		利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
要支援	1	0	0	0
	2	0	0	0
要介護	1	3	1	2
	2	9	7	6
	3	13	9	8
	4	12	12	12
	5	10	11	10
合 計		47	40	38

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

図表55 特定施設入居者生活介護の1人当たりの利用状況（国・県との比較）

区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第1号被保険者1人当たり給付月額（円）	37	43	241
受給者1人当たり給付月額（円）	190,148	196,027	208,375
認定者1人当たり定員（人）	0.001	0.002	0.014

資料：地域包括ケア「見える化」システム(2017.8.25取得)

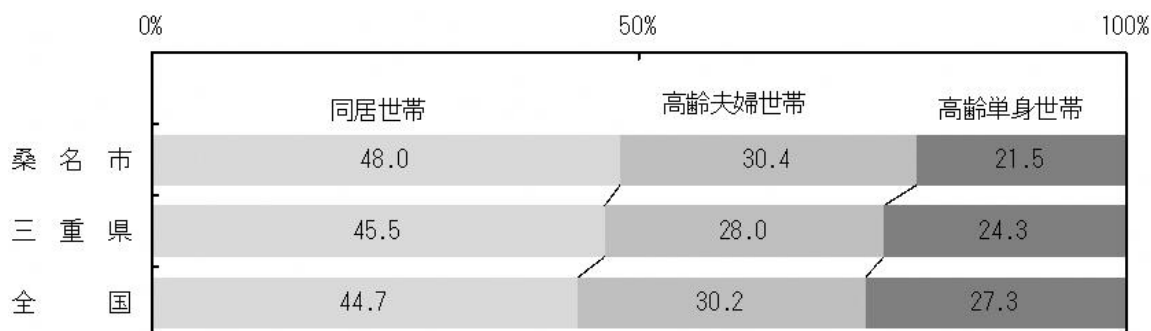
6 考察

(1) 要支援・要介護認定者

▼本市の認定率は、平成23・24年をピークに減少傾向にあり、平成29年度現在、14%弱で推移しています。全国、三重県との比較では4ポイント以上低くなっています。ただし、介護リスクの高い75歳以上の認定率は26%以上あり、今後、75歳以上人口の増加（長寿化の進展）に伴い、認定者数は増加するものと考えられます。

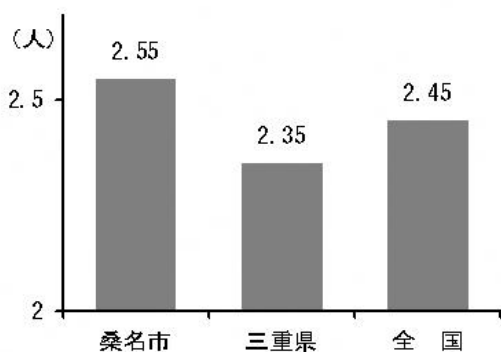
▼本市の認定率が低い要因としては、全国、三重県に比べ、高齢者のいる世帯の中で、単身世帯の比率が低く、同居世帯の比率が高く（国比較：+3.3ポイント、県比較：+2.5ポイント）なっており、家族人員（≒家族介護力）が多い点（国比較：+0.2人、県比較：0.1人）があげられます。また、高齢者の就業率も全国、三重県に比べ高く（国比較：+2.2ポイント、県比較：+2.1ポイント）、地域の中で役割を持って活動している高齢者が多いことも影響していると考えられます。

図表56 高齢者のいる世帯の構成比率



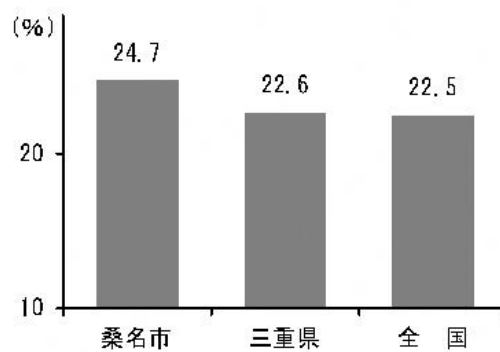
資料：国勢調査（平成27年）

図表57 高齢者のいる世帯の平均世帯人員



資料：国勢調査（平成27年）

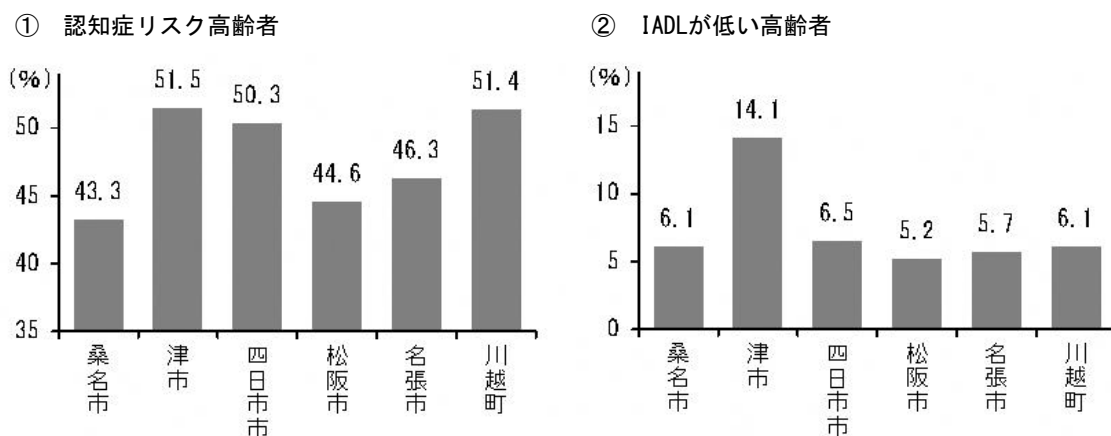
図表58 高齢者の就業率



資料：国勢調査（平成27年）

▼こうした背景のもと、本市においては、他市町に比べ身体機能及び認知機能が低下している高齢者の割合が低いという調査結果も出ており、認定率の低さに繋がっていると考えられます。

図表59 認知症リスク高齢者とIADL（手段的日常生活動作）が低い高齢者の割合



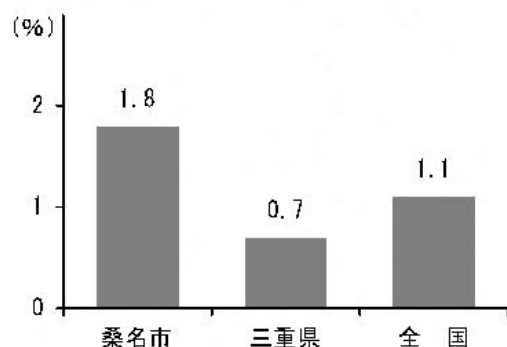
※この割合は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（平成28年度）結果のうち、要支援2以下の高齢者（認定を受けていない方を含む）の調査結果を基に算出

注) IADLとは、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、比較的高次の生活機能の水準を測定するもの

資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.9.11取得 比較可能な県内市町のみ）

▼また、介護予防に資する住民主体の通いの場の参加率をみると、本市は、全国、三重県を上回っています。これも高齢者の社会参加が図られているということから、認定率の低さに繋がっていると考えられています。

図表60 通いの場への週1回以上の参加率（平成27年）



資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.9.11取得）

※詳細出典：厚生労働省「介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業報告」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

▼なお、本市は、認定者のサービス受給率（利用率）が三重県平均に比べ3ポイント以上高く、真に介護サービスを必要としている人が、要介護認定を受けていることがわ

かります。これは、介護保険の適正な利用について、関係機関はもとより市民全体の理解度が高く、効率的に制度が運営されていることの表れと言えます。

図表61 要介護認定者のサービス利用率

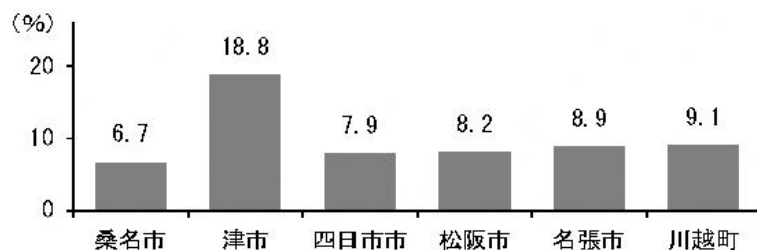
区 分	三重県平均		桑名市	
	平成27年3月	平成28年3月	平成27年3月	平成28年3月
施設・居住系・在宅受給者数 (A)	75,194	76,611	4,429	4,257 ^(※)
要支援・要介護認定者数 (B)	91,616	93,033	5,152	4,987 ^(※)
受給率 (A/B) [%]	82.1	82.3	86.0	85.4

注) 本市は平成27年4月から総合事業を開始しているため、平成28年3月ではAに介護予防ケアマネジメントの件数を、Bにチェックリスト該当者を加えています。

資料：介護保険事業状況報告

▼また、認定率が低いことにより、介護が必要だがサービスにつながっていないのではないかと懸念もありますが、他市町に比べてこのサービスにつながっていないという高齢者の割合は低いという調査結果も出ています。

図表62 介護が必要だが現在は受けていない高齢者の割合



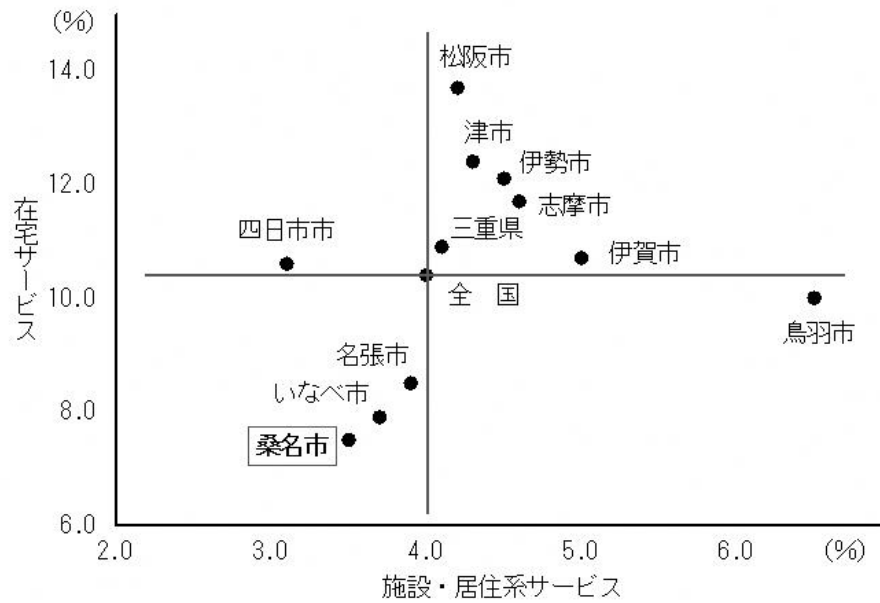
※この割合は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（平成28年度）結果のうち、要支援2以下の高齢者（認定を受けていない方を含む）の調査結果を基に算出

資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.9.11取得 比較可能な県内市町のみ）

(2) 介護保険給付費

■本市は、第1号被保険者1人当たりの給付月額が全国、三重県より低くなっています。言い換えれば、介護サービス全体の利用量が少ないということです。サービス受給状況を分布図で県内各市と比較すると、本市は在宅サービス、施設・居住系サービスともに受給率が低くなっています。しかし、受給者1人当たり在宅サービス給付額は、全国、三重県を大幅に上回っており、在宅の受給者一人ひとりには十分にサービスを利用していることとなります。

図表63 県内市部のサービス受給率



資料：地域包括ケア「見える化」システム（2017.9.11取得）

(3) 住宅サービス（居住系サービスを除く）

- 本市は、住宅サービス全般について、受給率が全国、三重県より低くなっていますが、小規模多機能型居宅介護をはじめ地域密着型サービスの多くが全国、三重県に比較的高くなっています。
- 訪問系のサービスについてみると、本市は、全国、三重県に比べ、重度の利用者が多い訪問入浴介護、訪問看護の受給者1人当たり利用回数が多く、給付月額も高くなっています。一方、訪問介護、訪問リハビリテーションは利用回数・給付月額ともに低くなっています。なお、本市は平成27年度当初から総合事業を導入しており、訪問介護については要支援の分が影響し低くなっていることが想定されます。
- 通所系のサービスについてみると、本市は、全国、三重県に比べ、通所介護の受給率は低く、利用量としては多くありませんが、受給者1人当たり利用回数が多く、給付月額も高く、1人当たりの利用は多いことがわかります。なお、本市は平成27年度当初から総合事業を導入しており、通所介護については要支援の分が影響し、受給率が低くなっていることが想定されます。
- また、通所介護は、認定者1人当たり定員が全国、三重県を大きく上回っており、現時点においてサービス提供体制が十分整っているといえます。

■短期入所サービスについてみると、短期入所療養介護に比べ短期入所生活介護が多く利用されています。短期入所生活介護は、全国、三重県に比べ受給者1人当たり利用回数が多く、給付月額も高くなっています。

(4) 地域密着型サービス（施設・居住系サービスを除く）

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護以外は、受給率、第1号被保険者1人当たり給付月額、受給者1人当たり給付月額は全国、三重県を上回っています。

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護についてみると、他の地域密着型サービスに比べ利用が低調であり、経年的にみても横這いです。

(5) 施設・居住系サービス

■本市における介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の整備状況について、認定者1人当たり定員でみると、全国、三重県に比べ、介護老人福祉施設は少なく、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人福祉施設及び介護療養型医療施設は多くなっています。したがって、施設・居住系サービスを押し並べて考えると、サービス提供体制は概ね確保できていると考えられます。

■また、市内施設の定員に対し、介護老人福祉施設は利用者数が多く、介護老人保健施設及び介護療養型医療施設は利用者数が少なくなっております。

■各施設サービスの第1号被保険者1人当たり給付月額をみると、全国、三重県に比べ、介護老人福祉施設は大きく下回り、介護老人保健施設は上回っており、介護療養型医療施設は大きな差はありません。なお、地域密着型介護老人福祉施設は、全国、三重県を上回っています。

■居住系サービスについてみると、市内には、認知症対応型共同生活介護を行うグループホームが15か所(定員：239人)、特定施設入居者生活介護を行う施設が2か所(定員：129人)、地域密着型特定施設入居者生活介護を行う施設が2か所(定員：49人)が整備されています。いずれの施設も定員数に対しサービス利用者数が若干少なくなっています。第1号被保険者1人当たり給付月額をみると、全国、三重県に比べ、認知症対応型共同生活介護及び地域密着型特定施設入居者生活介護は上回っていますが、特定施設入居者生活介護は下回っています。

◎まとめ

- 本市は、平成27年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を導入するとともに、住民主体の通いの場の普及啓発、「地域生活応援会議」の開催、認知症への早期対応に資する認知症初期集中支援チームの取組など、高齢者の自立支援に向けた多職種連携の取組や地域への働きかけ等を積極的に行ってきました。こうした取組により、在宅介護重視の介護保険法のサービス提供理念や、介護保険に依らないその人らしい暮らしの実現をめざす本市の姿勢が、事業者はもとより市民全体に徐々に浸透しつつあると推察します。それが、認定率の低さに代表されるような介護保険事業の適正な運営に反映されているものと考えられます。
- 本市では、全国、三重県に比べ、施設サービス及び居宅サービスの利用が少なく、地域密着型サービスの利用が多くなっています。これは、利用者のニーズに対応したものであり、本市が第6期計画において重点事項として進めてきた「施設機能の地域展開」の具体化にほかなりません。今後は、家族介護者支援や在宅における看取りなども考慮しながら、在宅介護の限界点を高めるためのサービス提供体制を更に充実していく必要があります。
- 現状では、重度の人を中心に利用されている訪問系サービスですが、重度の人に加え比較的軽度の人も、状態の改善・重度化予防に資するため、必要に応じ利用するよう促進していく必要があります。また、今後の在宅医療のニーズに的確に対応できるよう訪問看護を中心に医療的ケアを含む介護サービスの利用促進を図っていく必要もあります。
- 受給者1人当たり利用回数が多い通所系サービスについては、重度化予防の視点で、サービス利用の効果を検証しながらサービス提供のあり方を検討していく必要があります。また、1人当たりの利用量が多いことと、認定者1人当たり定員が多くサービス提供体制が整っていること等を勘案すると、通所介護の新規指定に係る従前の取扱いは、引き続き実施していくことが適当であると考えられます。
- 現在比較的利用が低調な定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用促進を図るとともに、小規模多機能型居宅介護や看護小規模多機能型居宅介護など他の地域密着型サービスも「施設機能の地域展開」を念頭に更なる充実を図る必要があります。
- 上記の課題解決を図るためには、在宅介護という扇の要である介護支援専門員の協力が必要不可欠です。介護支援専門員をはじめ関係する多職種の連携を更に強化するとともに、桑名市の介護の目指すべき姿を共有することが重要です。